

MEDIA SHIP 表参道ヒルズ

OMOTESANDO HILLS CHRISTMAS 2018

with Panasonic Beauty

「都会に出現するオーロラ」をテーマに、揺れ輝くクリスマスイルミネーション
11月7日(水)～12月25日(火)開催

表参道ヒルズでは、11月7日(水)～12月25日(火)まで、「OMOTESANDO HILLS CHRISTMAS 2018 with Panasonic Beauty」と題したクリスマスプロモーションを展開します。今年のテーマは「都会に出現するオーロラ」。施設の特徴である吹抜け大階段の空間全体を使い、天井には約6,000本のアイシクル(つらら)で構成する「光のカーテン」が登場。さらに、20分に1回の特別演出では、「光のカーテン」にオーロラが映し出されるなど、中央のツリーと合わせた特別な演出で、訪れた人々を幻想的な空間に誘います。

■異色素材を装飾に！アートや建築を取り入れた独創的イルミネーションに今年も挑戦

表参道ヒルズでは、新たな取組みとして、2017年よりアートを取り入れたクリスマスイルミネーションに挑戦しています。今年は、「ピアスから都市計画・宇宙開発までデザインする」をコンセプトに、東京とシアトルを拠点に活躍するクリエイティブチーム「KEIKO + MANABU(ケイコ プラス マナブ)」がデザインを手掛けることが決定。北国の冬空の美しさに着想を得た彼らが、鳥よけとして使われる異色素材を用い、アート・建築の視点から吹抜け空間全体を演出します。

■吹抜け大階段に約6,000本のアイシクル(つらら)を使用した揺らめく「光のカーテン」が登場

期間中、本館吹抜け大階段には「都会に出現するオーロラ」をテーマにクリスマスイルミネーションを実施。吹抜け大階段の上部には、約6,000本のアイシクル(つらら)からなる「光のカーテン」が登場。まるで冬の空に浮かんでいるようにハートやダイヤなどの形を描きながら空間全体を優しく包み込みます。加えて中央には、光のカーテンと同様にハートやダイヤなどの形をあしらった高さ約7mのクリスマスツリーが登場。緑や赤、シャンパンゴールドに光るツリーが、一層幻想的な世界観を演出します。

■特別演出では音楽に合わせて輝く神秘的なオーロラが出現

20分ごとの特別演出では、音楽に合わせてアイシクル(つらら)が光に照らされ、そのきらめきと呼応するようにツリーも緑、青、紫、ピンク、イエローなどのオーロラ色に変化。音楽の盛り上がりとともに、「光のカーテン」に現れたオーロラがダンスを踊るように神秘的に揺れ動きます。

今年のクリスマスは、表参道ヒルズに現れる幻想的なオーロラのイルミネーションで、友達や恋人、家族と一緒に過ごす素敵なひとときをお楽しみください。



※イメージ

※初日の11月7日(水)には、ゲストを迎え、プレス向け点灯式を開催予定です。

また、クリスマス限定商品、限定メニュー、イベント情報については10月中旬にリリース配信予定です。

本件に関する報道関係の方のお問合せ先

表参道ヒルズ PR 事務局: 青島・相田・阿部 TEL:03-4574-6250 FAX:03-3265-5058 MAIL: omotesandohills@ozma.co.jp
森ビル株式会社 表参道ヒルズ運営室 プロモーションチーム: 長岡 TEL:03-3497-0292 FAX:03-3497-0318

■装飾概要

本館 吹抜け大階段には「都会に出現するオーロラ」をテーマに、約 6,000 本のアイシクル(つらら)からなる「光のカーテン」が登場します。螺旋の形状をしたアイシクル(つらら)は、周囲の光や風景を反射しながらキラキラと揺れ輝き、街のきらめきやクリスマスの高揚感を表現。アイシクル(つらら)からなる「光のカーテン」は、ハートやダイヤなどの形を描きながら空間全体を優しく包み込み、施設の特徴でもある吹抜け空間の下から見上げるとその形を柔らかに浮かび上がらせます。

中央には高さ約 7m の四角柱のクリスマスツリーが登場。二層構造からなるツリーの正面と背面には、ゴールドとシルバーの板紙で作られたハートやダイヤなどのモチーフが埋め込まれ、半透明のツリーの中にその柔らかな陰影が優しく浮かび上がります。シルバーにキラキラと揺れ輝くアイシクル(つらら)のもと、ツリーの色はクリスマスイメージした緑や赤、シャンパンゴールドにゆっくりと移り変わります。

吹抜け空間のスロープ沿いに進んでいくと、場所や角度によってさまざまな表情を見せるイルミネーションは、まるで光の中を歩いているような幻想的な空間を生み出します。

(技術協力:王子パッケージング株式会社、王子マテリア株式会社)



※イメージ

タイトル：OMOTESANDO HILLS CHRISTMAS 2018 with Panasonic Beauty

期間：11月7日(水)～12月25日(火)

点灯時間：11:00～23:00

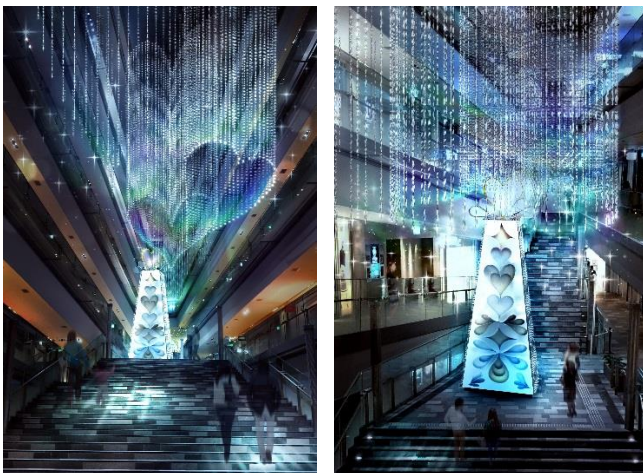
※初日の11月7日(水)のみ、点灯式終了後に点灯します。

問い合わせ先：03-3497-0310(総合インフォメーション)

■特別演出

本館 吹抜け大階段では、20分に1回、約3分間の特別演出を実施します。音楽にあわせてアイシクル(つらら)が光に照らされ、それと呼応する様にクリスマスツリーも緑、青、紫、ピンク、イエローなどのオーロラ色に移り変わります。クライマックスには、吹抜け大階段上部の「光のカーテン」に神秘的なオーロラが現れ、音楽の盛り上がりと共に、オーロラの光がまるでダンスを踊るように揺れ動きます。

※各日とも初回の演出は11:20～、最終回は22:40～



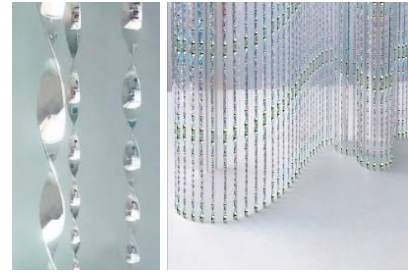
※画像は全てイメージ

デザインを手掛ける「KEIKO + MANABU(ケイコ プラス マナブ)」のKEIKOは幼少期をアラスカで、MANABUは盛岡で過ごしており、ともにルーツを北国に持っています。特別演出では、彼らの原風景である北国の冬空の美しさを表現するとともに、KEIKOが幼い頃にアラスカの沿岸で見上げた刻々と移り行く虹色のカーテンのようなオーロラを演出します。

【アイシクル (つらら) の素材について】

今回のクリスマスイルミネーションでは、鳥よけとして用いられる異色素材を「アイシクル(つらら)」として使用します。クロームメッキが施された螺旋状のこの素材は風を受けて回転し、光を拡散させることで、鳥をよせつけないことを本来の目的としていますが、デザイナーの「KEIKO + MANABU (ケイコ プラス マナブ)」はデザインの美しさに着目。過去、この素材をアートワークの一部として使用したところ、光を反射してきらきらと揺れ輝く様に、多くの人々が興味を持ち集まってくるということが起きました。鳥をよせつけないことを目的として作られたものが、逆に人の興味を掻き立てるという対照性に面白みを感じた「KEIKO + MANABU(ケイコ プラス マナブ)」は、この異色素材をクリスマス装飾に用いることを決定。

異色素材の中に眠る、美しさ・面白み・アート性を活用し、独創的な空間を作ります。



クリスマスイルミネーション デザイナー

■プロフィール

KEIKO + MANABU (ケイコ プラス マナブ)

内山敬子と沢瀬学が主催する、シアトルと東京に拠点を持つクリエイティブチーム。「ピラスから都市計画・宇宙開発までデザインする」をコンセプトに掲げ、建築学を基礎に、商業空間、都市計画、芸術、教育など多領域を横断する。近年では、企業の新事業・多角化事業へコンサルタントとして参加するなど、取り組みの幅をさらに広めている。武蔵野美術大学、工学院大学で講師を務める他、桑沢デザイン研究所では通年ゼミで卒業設計指導を行っている。「JCD Design Gold Award」、「FRAME Moooi Award Finalist」等、国内外で受賞多数。

URL: www.keikomanabu.com



<過去の作品例>

2008-2009年 DIESEL ART GALLERY にて空間インスタレーション「Heart of Shapes」を展示。2014年および2016年ヴェネツィア建築ビエンナーレ出展。現在、ビエンナーレ凱旋記念の空間作品「つぼみの円舞」がポーラ美術館(箱根)に特別展示中。2015年 SHISEIDO の Beauty vs World 新アイコン「Two Camellia for U」をデザイン。



Heart of Shapes/DIESEL ART GALLERY
撮影 太田拓実



つぼみの円舞/ポーラ美術館
撮影 本城直季



Two Camellia for U
撮影 太田拓実

【協賛】Panasonic Beauty (パナソニックビューティ)

2018年のクリスマスプロモーションは、【パナソニックビューティ】協賛のもと、開催します。パナソニックビューティは「忙しいひとを、美しいひとへ。」をコンセプトとして、美容家電を通じて、多忙な現代女性が効率的に「本格美容」をご提供できるブランドです。今回のイベントでは、癒しの空間で話題のマインドフルネスと美容家電の融合した美容メソッドもご紹介します。URL: panasonic.jp/beauty/

Panasonic
Beauty